



平成 27 年 5 月 8 日
海 上 保 安 庁

日比連携訓練の実施について

海上保安庁巡視船とフィリピン沿岸警備隊巡視船との間で 海賊対策等連携訓練を実施

5月6日(水) フィリピン・マニラ港沖において、フィリピンに派遣中の海上保安庁巡視船とフィリピン沿岸警備隊巡視船との間で連携訓練が行われました。

本訓練は、日比双方の海上法執行能力の向上を目的として実施されたものであり、フィリピン沿岸警備隊長官を含め、前日(5月5日(火))に行われた第11回アジア海上保安機関長官級会合への参加者による視察も行われました。

海上保安庁とフィリピン沿岸警備隊は、1972年より現在に至るまで、40年以上にわたり、航路標識の保守管理・海図作成や海洋調査の分野で多年にわたる技術協力を行っています。フィリピン共和国へは2001年から、今回を含め11回、当庁巡視船を派遣し連携訓練等を行っているものです。

1 訓練日時・場所

平成27年5月6日(水) 於 フィリピン・マニラ港沖

2 参加船艇等

(1) 海上保安庁

巡視船やしま(福岡海上保安部所属)

巡視船やしま搭載機(回転翼1機)

(2) フィリピン沿岸警備隊

巡視船艇4隻、航空機(回転翼1機)

3 訓練内容

海賊等の海上犯罪容疑船への立入検査、被疑者の確保を内容とする訓練及び当庁航空機による負傷者吊上救助訓練。



海賊対策等連携訓練の様子



第11回アジア海上保安機関長官級会合参加者による視察・参加者へのフェアウェルの様子